

第141回日本医師会臨時代議員会印象記

代議員 沖 一 郎

3月25日開催の第141回日本医師会代議員会に出席してきました。まず、前日の24日の夜に北海道選出の代議員が東京ステーションホテルに集合し翌日の会議のための打ち合わせをします。代表質問、個人質問の内容等について話し合いをします。

中川日本医師会副会長も出席され今般の日本医師会の状況も説明されました。

翌日の25日は、東京の桜は満開で、都内の名所だけでなく日本医師会館への道すがら見事な満開の桜に見とれて、北海道との満開時期の差に驚嘆しました。

まず、横倉会長の挨拶から始まりました。今回世界医師会会長にも就任したせいか、国際的視野にたった内容でした。超高齢化社会の問題、かかりつけ医について、医療計画と介護保険、医師の働き方改革などなどでした。

次に、中川副会長から平成30年度の日本医師会事業計画の説明がありましたが、日本医師会電子認証センターの運営する医師資格証の医師への利用の拡大が印象に残りました。

この資格証は将来、身分証明機能だけでなく学術講演会、研修会への利用や様々な学会の単位の取得、保健・医療への利用など発展が見込まれます。会員増強の最大の武器になる可能性があります。4月から始まる地域医師会の生涯教育講座の認定などとさらに関連してくるものと思いました。

平成30年予算に関して今村副会長からの説明と財務委員長の説明などの後、午前の代表質問に入ります。

した。

最初は、北海道医師会の小熊副会長の医師の働き方改革についてでしたが、働き方改革についてが2題、新専門医制度についてが2題、医師の偏在について、日医のグランドデザインについて、訪日外国人に対する医療問題などについて、執行部が丁寧に答弁しておりました。

食事休憩をはさんで、午後からは個人質問です。医師の働き方改革について、新専門医制度について、認知症と運転免許証の返納問題、医師会立看護学校の運営、支払基金の業務効率化計画について、基準病床数問題、受動喫煙問題、などなどでした。

個人質問の最後に、札幌市医師会の今副会長より、医療事故調査制度の事故報告書についての質問がありました。これは院内事故報告書が医療訴訟のために目的外利用されていること、などを踏まえてしっかりとガイドライン、マニュアルの必要性を訴えての質問でした。

日本医師会代議員会に参加して毎回感じることで、全ての郡部医師会、地域医師会が抱えている問題が常に共通しており、それに各地域の代議員が日本医師会の執行部に問題提起し、問題認識してもらおう意味で大事な会議です。全国300有余人の代議員の責任を感じる臨時代議員会でした。

次回6月の日本医師会代議員会は会長、副会長、常任理事などの選挙もあります。北海道選出の代議員一丸となってしっかり対応したいと思います。

「医師資格証」を持ちましょう

診療情報提供書等へのHPKI電子署名に対応しています



<問い合わせ先>

北海道医師会 事業第一課

TEL 011-231-7661

<http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/credential.html>

日本医師会電子認証センター

<http://www.jmaca.med.or.jp/>

『医師資格証』はHPKI(保健医療福祉分野公開鍵基盤)の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです